

産官学民で取り組む
桐生独自の教育プログラム

未来創生塾



織物参考館^{ゆかり}「紫」の見学（応用編）

未来創生塾は、群馬大学理工学部を核に、桐生市の産・官・学・民が連携した特別教育プログラムです。

子どもに発見の喜びと感動を与えて感性を育み、地元に誇りを持ち、世界をリードする人材の育成と、100年先の楽しい低炭素未来社会の構築を視野に入れています。

未来創生塾の活動は、基礎編と応用編に分かれています。

問い合わせは未来創生塾事務局（桐生商工会議所内、☎451201）または生涯学習課社会教育係（☎内線270）

基礎編

プログラム内容

基礎編は、市内の小学校を対象に、授業の一環として実施しています。内容は、次の3つのプログラムを中心としています。

- ①株式会社桐生再生の協力による、低速電動コミュニケーションバス「MAYU」を使った授業
 - ②群馬大学理工学部の協力による理科の実験
 - ③桐生織塾の協力による、織物の仕組みを学べるカード織りの実習
- 特に①の「MAYU」は、

基礎編一例（北小学校）

- 1 桐生高校スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の生徒が先生役となり、小学生にMAYUの構造などを授業
- 2 一緒にMAYUに乗り込み重伝建地区を見学
- 3 最後に授業をまとめる



1



2



3

令和2年度 第8期生 年間スケジュール(予定)

- 第1回=入塾式・ガイダンス
- 第2回=●群大しだれ桜を見る会参加
●群大生と実験!
- 第3回=●重要文化財彦部家住宅、タケノコ掘り、草木染め
- 第4回=●●企業共同企画 ゴミ拾い、稚魚放流、水生昆虫、低炭素料理(タイ料理)
- 第5回=●海外研修(希望者のみ)
- 第6回=●溪流ピストン釣り
- 第7回=●企業見学1
- 第8回=●MAYUに乗ってジャンボパレード参加
- 第9回=●清流読書
- 第10回=●企業見学2
- 第11回=●織物参考館“紫”・地場産センター(民族衣装)見学、カード織り
- 第12回=●伝統のお正月 門松づくり~彦部家住宅~
- 第13回=●音の世界
- 第14回=●食事のマナー教室(洋食)
- 第15回=まとめ・パワーポイント技法を学ぶ
- 第16回=まとめ・総合成果発表会

応用編は、市内の小学生とその保護者から希望者を募り、年間を通して未来創生塾の塾生として活動します。単なるイベントではなく、次の9項目に従って体系的なカリキュ

ラムを組んでいます。
●歴史編 桐生の歴史に触れ、郷土の魅力を再発見する
●文化編 桐生の伝統文化に触れ、郷土の心を認識する
●産業編 地元企業の見学を行い、魅力ある地元企業を認識する
●工学編 実験や工作などを通して、工学の持つ魅力を体験する
●自然編 桐生の持つ資源を活用し、感性を育む
●芸術編 染色、絵画などを通して、未来社会に必要な感性を育む
●国際編 海外研修や外国人留学生との交流で、国際感覚を身につける
●社会編 桐生の未来を考え、地域活性化に取り組む

●福祉編 高齢者とのふれあいにより、高齢化社会を考える
また、年間を通して「桐生のみらい米」の米作り活動なども行っています。

応用編 プログラム内容

低炭素型スローモビリティ(環境にやさしい乗り物)として全国的にも注目を集めており、環境教育分野での活用も期待されています。
小学校ごとに、社会科見学時に「MAYU」の学習と試乗を組み込んだり、「MAYU」で街並み見学をしたり、特色のある授業が行われています。

第8期生募集

令和2年度(第8期)の未来創生塾生を募集します。活動は毎月1回程度、小学校の休日に行います。
対象 市内の小学生と保護者
募集人数 親子30組
申し込み 2月17日(月)までに、申込用紙に必要事項を記入のうえ、未来創生塾事務局へ。申込用紙と募集案内は、市内の小学校で配布します。
問い合わせ 未来創生塾事務局(桐生商工会議所内、☎1201)

塾生の声



左右田詩乃さん・葵さん

親子で楽しみながら学んでいます。人見知りだった詩乃も、学校のことなど、自分からやりたいという姿勢を見せるようになりました。



小島菜々美さん・義隆さん

これまで知らなかった、地元の資源、自然や企業を知ることができておもしろいです。環境問題にも興味湧いてきていますよ!

こんにちは
市長です



市職員研修 「市長とトーク」

今年度昇任した課長、係長を対象とした市職員研修「市長とトーク」を1月に行いました。

これは、私がホスト役となつて、職員が日頃どのような思いで業務に取り組んでいるか、桐生市の将来をどのように描いているかなど、市政に対する考え方を共有する目的で行っている研修です。

それぞれが、自分の業務に関わる熱い思いはもちろんですが、業務を離れて行っている普段の活動などを通じて感じることで、桐生市の未来を見据えて考える施策案などを真剣に語ってくれました。

桐生のことが大好きだという思い、そして、まちづくりは市民とともに進めたいという強い思いは私と同じで、とても頼もしく感じました。

これからも、桐生市の発展のため、市民の皆さんのため、共に一生懸命頑張ります。

桐生市長 荒木 恵司